

【見直し区分】
①普及啓発 ②会議等 ③調査業務 ④窓口業務等
⑤施設整備・維持等 ⑥委託業務 ⑦補助事業 ⑧その他

【補点(E)(I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進 ②再生エネルギー導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進 ④3Rの推進による廃棄物の削減 ⑤温室効果ガス吸収対策
⑥「Smart道庁」の取組の推進による道庁における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る関係自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し状況(F)(J)(M)】
① 対応済
② 今回見直しを検討
③ 対応不要

【見直し結果(S)(T)(U)】
見直し状況(F)(J)(M)で②今回見直しを検討を
選択した検討結果
○見直し対応 △検討継続

整理番号	扶養区分	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費(千円)	事業費(千円)	執行体制						フルコスト(千円)	対応方針番号	事務事業方向性	理由及び今後の対応	一次政策評価																二次政策評価						
									うち一般財源	本庁	出先機関	人工計	I ゼロカーボン	II Society5.0					III 新型コロナウイルス感染症			IV 前年度意見			該当	見直し状況	内容	該当	対応状況	見直し状況	見直し状況	見直し状況	I ゼロカーボン	II Society5.0	III 新型コロナウイルス感染症	二次政策評価意見への対応状況					
																			計画等位置づけ(D)	視覚状況(E)	見直し状況(F)	理由(G)	計画等位置づけ(H)	視覚状況(I)													見直し状況(J)	理由(K)	該当(L)	見直し状況(M)	内容(N)
0119		一般	EPA交渉-WTO農業交渉等バックアップ事業費	①	EPA交渉-WTO交渉に関する道民・国民の合意形成や理解の促進を図るため、交渉に関する啓発活動の実施	農政課		347	347	2.8	0.0	2.8	22,215		現状維持	引き続き、EPA交渉-WTO交渉に関する道民・国民の合意形成や理解の促進を図る必要があるため。			①		①	普及啓発冊子についてはオンラインにおいても掲載している		○	①	普及啓発冊子についてはオンラインにおいても掲載している											現状維持				
0120		一般	北海道農業・農村確立連絡会議等	②	連絡会議の開催及び国等に対する提案活動の実施	農政課		146	146	1.4	0.0	1.4	11,080		現状維持	引き続き、連絡会議の開催及び国等に対する提案活動を実施する必要があるため。			②		②	要請の相手方がオンラインに対応できれば対応は可能。ただし、対面での要請実施の重要性には配慮が必要。		○	②	要請の相手方がオンラインに対応できれば対応は可能。ただし、対面での要請実施の重要性には配慮が必要。											現状維持				
0121		一般	第6期農業・農村振興推進計画検討費	②	北海道農業・農村振興条例に基づき、第6期北海道農業・農村振興推進計画を推進する必要があるため。	農政課		0	0	1.4	0.0	1.4	10,934		現状維持	引き続き、北海道農業・農村振興条例に基づき、第6期北海道農業・農村振興推進計画を推進する必要があるため。			②		②	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。		○	②	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。											現状維持				
0318		一般	道産小麦需要拡大促進事業	②	北海道の小麦で初めてとなる菓子用品種「北見05号」の普及促進により、小麦製品の原料を道外・海外産小麦から安全・安心で良質な道産小麦への置き換えを図り、道産小麦の需要を拡大	食品政策課		2,604	2,604	0.5	0.5	1.0	10,414		現状維持	引き続き、小麦商品の原料を道外産小麦から安全・安心で良質な道産小麦への置き換えを図り、道産小麦の需要を拡大する必要があるため。			①		①	会議等の内容や、相手方がオンライン対応できればオンラインで実施済。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性には配慮が必要。		○	①	会議等の内容や、相手方がオンライン対応できればオンラインで実施済。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性には配慮が必要。										現状維持					
0304	06012	一般	東京2020オリンピック食と花のおもてなし事業費	-	東京2020オリンピック競技大会の札幌開催において、国内外に北海道の食と花の集積しを促進するため、道の企業や各市町村・団体等と連携して、来道する多くのメディアや海外観光客、道外観光客に「北海道スタイル」で安全・安心の食と花をおもてなしをする。	食品政策課		17,701	0	0.3	0.0	0.3	20,044		終了																					終了					
0401		一般	米流通対策指導事業費	-	「米トレーサビリティ法」及び「食糧法」に基づき、米穀等の取引などに係る情報の記録及び流通情報の伝達並びに米穀関係事業者が遵守すべき事項の履行の適正化を図るため、米穀関係事業者等の立入検査や事業者への指導、普及啓発等を実施	農産振興課		813	813	1.0	0.8	1.8	14,871		現状維持	引き続き「米トレーサビリティ法」及び「食糧法」に基づく米穀関係事業者等への立入検査や事業者への指導、普及啓発等を実施する必要があるため。																							現状維持		
	1	一般	米トレーサ法対策費	-		農産振興課		181	181																																
	2	一般	米穀事業者事業者遵守事項対策費	-		農産振興課		632	632																																
0402		一般	水田農業元気づくり推進事業費[団体補助金]	-	地域水田農業の産地確立に向け、加工用米・備蓄米等の低コスト・安定生産や耕作業の生産性向上などの技術研修の開催・情報提供を支援(補助事業)	農産振興課		950	950	1.8	0.0	1.8	15,008		現状維持	水稲の安定生産や耕作業の生産性向上に向けた情報提供は引き続き継続する必要があるため。																									現状維持
0403		一般	米どころ・酒どころ振興事業費	-	道産日本酒の輸出拡大に向けて、北海道らしい日本酒を造るための酒米の生産振興や、道産日本酒のブランド力強化に向けた取組を総合的に推進	農産振興課		17,321	11,225	1.0	0.0	1.0	25,131		現状維持	道総研と連携した酒米の品種開発推進や生産技術の向上、日本酒のブランド力強化に向けた取組は、引き続き継続する必要があるため。																									現状維持
	1	一般	道産酒米の生産振興	②		農産振興課		10,849	10,849																																
	2	一般	道産日本酒のブランド力強化	②		農産振興課		6,472	6,472																																
0404		一般	農産物検査指導監督等推進費	-	第4次一括法により都道府県知事が行うこととなった、農産物検査法に規定する農林水産大臣の権限に属する事務の一部を適切かつ円滑に執行し、農産物検査の適正かつ確実な実施を確保	農産振興課		1,827	1,823	2.0	0.0	2.0	17,447		現状維持	引き続き「米トレーサビリティ法」及び「食糧法」に基づく米穀関係事業者等への立入検査や事業者への指導、普及啓発等を実施する必要があるため。																									現状維持
	1	一般	巡回立入調査・指導	-		農産振興課		1,823	1,823																																
	2	一般	登録機関の登録事務	④		農産振興課		4	0																																
0405		一般	原種等生産事業費	-	北海道主要農作物等の種子の生産に関する条例に基づき、本道の基幹的作物である主要農作物等の生産性及び品質の向上を図るため、優良種子の生産安定及び安定供給を実施	農産振興課		161,901	64,323	1.2	2.4	3.6	190,017		現状維持	北海道主要農作物等の種子の生産に関する条例に基づき、引き続き優良種子の生産安定及び安定供給を実施する必要があるため。																									現状維持
	1	一般	主要農作物原種ほ設置委託事業費	-		農産振興課		158,719	64,140																																
	2	一般	原種等管理事業費	②		農産振興課		3,182	183																																
0406		一般	原種等生産事業費[団体補助金]	-	そばの原種ほ等の設置経費に対して補助	農産振興課		519	519	0.1	0.0	0.1	1,300		現状維持	北海道主要農作物等の種子の生産に関する条例に基づき、引き続き優良種子の生産安定及び安定供給を実施する必要があるため。																									現状維持
0407		一般	農産物供給体制確立事業費	-	道産農産物の競争力強化を図るため、産地における安全で安心な農産物の安定的な生産供給体制の確立を推進	農産振興課		1,067	1,067	2.1	3.4	5.5	44,022		現状維持	産地における安全で安心な農産物の安定的な生産供給体制の確立の推進が必要																								現状維持	
	1	一般	てん菜生産推進指導対策	②		農産振興課		125	125																																
	2	一般	馬鈴しょ生産推進指導対策	②		農産振興課		132	132																																

【見直し区分】 ①普及啓発 ②会議等 ③調査業務 ④窓口業務等 ⑤施設整備・維持等 ⑥委託業務 ⑦補助事業 ⑧その他

【見直し状況 (F) (J) (M)】 ① 対応済 ② 今回見直しを検討 ③ 見直し対応 △検討継続

【見直し結果 (S)(T)(U)】 見直し状況 (F)(J)(M)で②今回見直しを検討を 選択した検討結果 ○見直し対応 △検討継続

整理番号	扶養	事業区分	経費区分	事務事業名	見直し区分	事務事業概要	課・局名	令和3年度 一次政策評価											二次政策評価				ACTION 結果への対応(令和4年度)										
								執行体制						重点点検事業					意見				次年度方向性	次年度対応内容	重点点検事業 見直し			二次政策評価 意見への対応状況					
								事業費(千円)	うち一般財源	本庁	出先機関	人工費	フルコスト(千円)	計画等位置づけ	視点	見直し状況	I ゼロカーボン		II Society5.0		III 新型コロナウイルス感染症				IV 前年度意見		I ゼロカーボン		II Society5.0	III 新型コロナウイルス感染症			
																	理由	理由	該当	見直し状況	内容	該当			対応状況								
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)	(Q)	(R)	(S)	(T)	(U)													
0418			一般	次世代国産花き産産立推進委託事業費	①	・北海道花き振興協議会が実施する事業の円滑な推進を図るため、一部取組を同協議会から北海道が受託	農産振興課	200	0	1.0	0.1	1.1	8,791	現状維持	協議会からの委託事務であり、国費事業が94%以上継続すると思われるため	④	②	業務にあつては、電子による啓発資料の配布など、環境の負荷低減を図る。	②	②	業務にあつては、電子による啓発資料の配布など、環境の負荷低減を図る。	○	②	非接触型の実施形態を図る。	現状維持		○	○	○	ペーパーレス化、電子化やオンライン開催に向け、引き続き事業内容を検討する。			
0419			一般	産産果樹ブランド力強化総合推進事業費(道推進事務費)	②	・産産果樹のブランド力の向上、果樹振興を図るため、果樹の高品質安定生産や消費拡大の対応に加え、省力・低コスト栽培技術の導入や機能性を有する小果樹など新たなニーズ等への対応も推進	農産振興課	616	616	0.4	0.1	0.5	4,521	現状維持	引き続き、産産果樹の振興を図る必要があるため	④	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	②	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	○	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	現状維持		○	○	○	可能な限り、会議等におけるオンラインやタブレットの活用に向けた取組を促進して参る。			
0420			一般	産産果樹ブランド力強化総合推進事業費(補助金)	-	・産産果樹のブランド力の向上、果樹振興を図るため、果樹の高品質安定生産や消費拡大の対応に加え、省力・低コスト栽培技術の導入や機能性を有する小果樹など新たなニーズ等への対応も推進	農産振興課	700	700	0.2	0.0	0.2	2,282	現状維持	引き続き、産産果樹の振興を図る必要があるため	-	-	国費事業であり、要件等の数値がないため。	-	-	国費事業であり、要件等の数値がないため。	-	-	国費事業であり、要件等の数値がないため。	現状維持								
0421			一般	ワイン用ぶどう生産拡大総合推進事業費(創生交付金)	-	・地理的表示制度(GI)の「北海道」指定を絶好の機会としてワイン産業の全体の振興を図るため、ポットネットとなっている苗木の確保対策などワイン用ぶどうの確保に向け生産拡大を総合的に推進	農産振興課	910	644	0.6	0.0	0.6	5,596	現状維持	作付けが拡大するワイン用ぶどうについて、引き続き生産力向上などを図る必要があるため	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、作業範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。
1				関係者との情報共有	②		農産振興課	205	173					現状維持	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	④	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	②	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	○	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	現状維持		○	○	○				
2				苗木確保対策	②		農産振興課	212	140					現状維持	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	④	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	②	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	○	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	現状維持		○	○	○				
3				生産力向上	②		農産振興課	493	331					現状維持	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	④	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	②	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	○	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	現状維持		○	○	○				
0422			事務	課内総括事務	②	・職員の服務・研修、道議会事務、予算・決算等課内の業務に関する事務全般及び農産経営の企画調整に関する事務	農産振興課			2.0	1.7	3.7	28,897	現状維持	引き続き、課内総括調整事務を行う必要があるため	④	①	オンライン対応可能であれば対応済み。	①	①	オンライン対応可能であれば対応済み。	○	①	オンライン対応可能であれば対応済み。	現状維持								
0423			事務	農産物の生産振興対策に関する事務	②	・畑作物・米・園芸作物の生産振興及び流通に関する事務	農産振興課			4.0	11.1	15.1	117,931	現状維持	引き続き、生産振興及び流通に関する事務を行う必要があるため	④	①	オンライン対応可能であれば対応済み。	①	①	オンライン対応可能であれば対応済み。	○	①	オンライン対応可能であれば対応済み。	現状維持								
0424			一般	ごはん食拡大・米産地づくり推進事業費	②	・人口減少等による米消費の減少が見込まれる中、北海道米の道内産率を維持し、業務需要の掘り下げ等による重要な消費拡大運動を展開するとともに、農家戸数が減少する中での生産力維持に向け、直接向け新品種の導入や省力化技術等を推進	農産振興課	4,360	4,360	2.4	1.0	3.4	30,914	現状維持	北海道米の消費拡大や直接向け新品種の導入や省力化技術推進に向けた取組は引き続き継続する必要があるため。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、作業範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。		
1			一般	北海道米の消費拡大	②		農産振興課	3,078	3,078					現状維持	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。	④	②	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。	②	②	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。	○	②	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。	現状維持		○	○	○				
2			一般	省力化の取組推進	②		農産振興課	1,282	1,282					現状維持	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。	④	②	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。	②	②	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。	○	②	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。	現状維持		○	○	○				
0425			一般	産産小麦需要拡大促進事業費	②	・北海道産、菓子用品種「北星95号」の普及促進により、産産小麦への置き換えを図るための生産対策や需要拡大対策を推進	農産振興課	625	625	1.2	0.9	2.1	17,026	現状維持	引き続き産産小麦の生産技術確立のため、対策を実施する必要があるため。	④	②	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。	②	②	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。	○	②	会議の内容や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、対面で行う打ち合わせ業務の重要性に配慮が必要。	現状維持		○	○	○	可能な限り、会議等におけるオンラインやタブレットの活用に向けた取組を促進して参る。			
0426			一般	水田・大豆産地生産向上事業費	-	・水田における、麦・大豆の生産性向上等に向け省力化・新技術の導入などの取組に対しソフト・ハード両面から支援	農産振興課	807,090	0	0.8	1.0	1.8	821,148	現状維持	国費事業であり、引き続き対策を継続するため。	-	-	国費事業であり、要件等の数値がないため。	-	-	国費事業であり、要件等の数値がないため。	-	-	国費事業であり、要件等の数値がないため。	現状維持								
0427			一般	園芸産地における事業継続強化対策事業費	-	・自然災害に強い園芸産地を形成するため、非常時の対応能力向上に向けた事業維持計画(BCP)の策定や実行に必要な整備・取組を支援	農産振興課	25,000	0	0.2	0.1	0.3	27,343	現状維持	国費事業であり、引き続き対策を継続するため。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、作業範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。		
1			一般	事業費補助金	-		農産振興課	23,700	0					現状維持	国費事業であり、要件等の数値がないため。	-	-	国費事業であり、要件等の数値がないため。	-	-	国費事業であり、要件等の数値がないため。	-	-	国費事業であり、要件等の数値がないため。	現状維持								
2			一般	道推進事務費	②		農産振興課	1,300	0					現状維持	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	④	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	②	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	○	②	会議の内容(情報共有)や相手方がオンライン対応可能であれば対応。ただし、現地での指導、調査などは対応不可	現状維持		○	○	○				
0428			一般	東京2020オリンピック食と花のおもてなし事業費	-	・東京オリンピックの札幌開催において、国内外に北海道の花の素晴らしさを発信するための展示やPRの実施	農産振興課	12,299	0	0.4	0.0	0.4	15,423	終了	単年度事業であるため	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
0501			一般	畜産振興総合対策推進指導事業費	-	・生産加工技術講習会の開催や、農場・内職生産出荷調整の指導助言	畜産振興課	0	156	156	0.3	0.0	0.3	2,499	現状維持	引き続き、畜産農家に対する経営技術指導並びに特用家畜の安定的な生産対策を実施する必要があるため。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、作業範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。		
1			一般	畜産振興総合対策推進指導事業費	②		畜産振興課	0	56	56				現状維持	会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンライン開催の活用などを検討。ただし、対面を実施することの重要性には配慮が必要。	④	②	会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンライン開催の活用などを検討。ただし、対面を実施することの重要性には配慮が必要。	②	②	会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンライン開催の活用などを検討。ただし、対面を実施することの重要性には配慮が必要。	○	②	会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンライン開催の活用などを検討。ただし、対面を実施することの重要性には配慮が必要。	現状維持		○	○	○				
2			一般	畜産経営技術高度化促進事業	-		畜産振興課	0	100	100				現状維持	ゼロカーボンに資する補助メニュー・要件の追加は事業内容となじまないため(現地指導や研修会などオンラインでの対応が困難)	-	-	Society5.0に資する補助メニューの追加は事業内容となじまないため(現地指導や研修会などオンラインでの対応が困難)	-	-	Society5.0に資する補助メニューの追加は事業内容となじまないため(現地指導や研修会などオンラインでの対応が困難)	-	-	Society5.0に資する補助メニューの追加は事業内容となじまないため(現地指導や研修会などオンラインでの対応が困難)	現状維持								
0502			一般	牛群検定高度化推進事業費	-	・牛群検定事業・後代検定事業の補助交付金事務及び事業推進・指導事務	畜産振興課	62,648	62,648	0.6	0.1	0.7	68,115	現状維持	引き続き、酪農家の経営改善や乳質改善などの適切な飼養管理を通じた酪農経営の強化並びに本道の乳用種牛群の改良を推進する必要があるため。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンラインでの開催を検討し、実施可能な場合はオンラインで実施。来年度以降も同様に対応する。			

【見直し区分】

①普及啓発 ②会議等 ③調査業務 ④窓口業務等 ⑤施設整備・維持等 ⑥委託業務 ⑦補助事業 ⑧その他

【視点(E) (I)】

①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進 ②再エネ導入促進、建築物の省エネ化 ③次世代自動車などの導入促進 ④SDGの推進による廃棄物の削減 ⑤温室効果ガス削減対策 ⑥「Smart運行」の取組の推進による運行における業務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現 ⑦行政のデジタル化に係る遠隔自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し状況 (J) (M)】

① 対応済 ② 今回見直しを検討 ③ 対応が必要

【見直し結果 (S)(T)(U)】

見直し状況 (F)(G)(H)で①今回見直しを検討を選択した検討結果 ○見直し対応 △検討継続

Table with columns for 整理番号, 種別, 重要度, 経費区分, 事務事業名, 見直し区分, 事務事業概要, 課・局名, 前年度からの繰越事業費(千円), 事業費(千円), うち一般財源, 本庁, 出先機関, 人工計, フルコスト(千円), 対応方針番号, 事務事業方向性, 理由及び今後の対応, 計画等位置づけ, 視点, 見直し状況, 理由, 計画等位置づけ, 視点, 見直し状況, 理由, 該当, 見直し状況, 内容, 該当, 対応状況, 次年度方向性, 次年度対応内容, ゼロカーボン, Society 5.0, 新型コロナウイルス感染症, 二次政策評価意見への対応状況.

【見直し区分】
①普及啓蒙 ②会議等 ③調査業務 ④窓口業務等
⑤施設整備・維持等 ⑥委託業務 ⑦補助事業 ⑧その他

【観測(E) (I)】
①省エネ設備の普及とエネルギー利用の効率化の促進 ②再エネ導入促進、建築物の省エネ化
③次世代自動車などの導入促進 ④CRの推進による廃棄物の削減 ⑤温室効果ガス吸収対策
⑥「Smart運行」の取組の推進による運行における事務の効率化・省力化や多様で柔軟な働き方の実現
⑦行政のデジタル化に係る遠隔自治体間のノウハウの共有化の推進

【見直し状況(F) (J) (O)】
① 対応済
② 今回見直しを検討
- 対応が不要

【見直し結果(S)(T)(U)】
見直し状況(F)(J)(O)で②今回見直しを検討を
選択した検討結果
○見直し対応 △検討継続

整理 番号	扶 養 種 別	経 費 区 分	事 務 事 業 名	見 直 し 区 分	事 務 事 業 概 要	課・局 業 名	令和3年度 一次政策評価																				二次政策評 価 意 見	ACTION 結果への対応(令和4年度)																
							前年度 からの 繰越 事業費 (千円)	事業費 (千円)	うち 一般 財源	執行体制					フル コスト (千円)	対 応 方 針 番 号 (A)	事 務 事 業 方 向 性 (B)	理 由 及 び 今 後 の 対 応 (C)	I ゼロカーボン						II Society5.0								該 当 (L)	見 直 し 状 況 (M)	内 容 (N)	該 当 (O)	対 応 状 況 (P)	次 年 度 方 向 性 (Q)	次 年 度 対 応 内 容 (R)	重点点検事業 見直し			二次政策評 価 意 見 へ の 対 応 状 況 (U)	
										本 庁	出 先 機 関	人 工 計	計 画 等 位 置 づ け (D)	視 点 (E)					見 直 し 状 況 (F)	理 由 (G)	計 画 等 位 置 づ け (H)	視 点 (I)	見 直 し 状 況 (J)	理 由 (K)	III 新型コロナウイルス感染症			IV 前年度意見		ゼ ロ カ ー ボ ン	S o c i e t y 5. 0	新 型 コ ロ ナ ウ ィ ル ス 感 染 症												
										見 直 し 状 況 (O)	見 直 し 状 況 (P)	該 当 (L)													対 応 状 況 (P)																			
2	一般	計画策定指導推進費	②	畜産振 興課	1,540	770										4	②	会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンライン開催の活用などを検討。ただし、対面で実施することの重要性には配慮が必要。				0	②	会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンライン開催の活用などを検討。ただし、対面で実施することの重要性には配慮が必要。					0	0	0													
0529	一般	国際貿易協定に対応した畜産牛肉生産強化・消費拡大事業費		畜産振 興課	0	6,276	6,276	0.2	0.0	0.2	7,838	現状維 持	生産技術の向上とともに知名度やシェア拡大などの取組を実施するため															会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維 持						会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンラインでの開催を検討し、実施可能な場合はオンラインで実施。来年度以降も同様に対応する。									
1	一般	補助金	-	畜産振 興課	0	4,795	4,795																																					
2	一般	事務費	②	畜産振 興課	0	1,481	1,481									4	②	会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンライン開催の活用などを検討。ただし、対面で実施することの重要性には配慮が必要。				0	②	会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンライン開催の活用などを検討。ただし、対面で実施することの重要性には配慮が必要。					0	0	0													
0530	一般	めん羊生産振興事業費		畜産振 興課	0	2,500	2,500	0.3	0.0	0.3	4,843	現状維 持	種畜供給体制の強化を推進するため														会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維 持						会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンラインでの開催を検討し、実施可能な場合はオンラインで実施。来年度以降も同様に対応する。										
1	一般	連携体制強化	②	畜産振 興課	0	140	140									4	②	会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンライン開催の活用などを検討。ただし、対面で実施することの重要性には配慮が必要。				0	②	会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンライン開催の活用などを検討。ただし、対面で実施することの重要性には配慮が必要。					0	0	0													
2	一般	優良種畜供給体制の確立	-	畜産振 興課	0	2,360	2,360																																					
0531	一般	酪農経営体質強化事業	②	畜産振 興課	0	3,893	3,893	2.0	1.4	3.4	30,447	現状維 持	飼養生産を推進するとともに、経営体質の強化を図るため														会議等におけるオンラインやタブレットの活用によるCO2削減や移動時間の削減、参集範囲の拡大に向けた取組の促進など、ゼロカーボン北海道及びSociety5.0の推進に向け、事業内容を検討すること。	現状維 持						会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲においてオンラインでの開催を検討し、実施可能な場合はオンラインで実施。来年度以降も同様に対応する。										
0601	一般	普及活動推進事業費		技術普 及課	0	51,390	36,014	5.4	5.4	10.8	135,800	現状維 持	引き続き普及業務を進めるうえで重要な事務事業であるため。																															
1	一般	協同農業普及事業推進指導費	③	技術普 及課		36,774	32,862									0	①	気象状況に応じた技術対策を定期的な農業改良普及センターを通じて農業業者等へ指導している				0	①	体験型の研修については対面での実施が必要であるが、すでに可能な範囲において非接触型のオンライン開催を活用するなどして対応済み。																				
2	一般	専門技術員活動高度化事業費	③	技術普 及課	2,801	2,801																	0	①	検討会については可能な範囲において非接触型のオンライン開催を活用するなどして対応済み。																			
3	一般	研究連携課題解決支援事業費	①	技術普 及課	11,815	351																	0	①	会議については可能な範囲において非接触型のオンライン開催を活用するなどして対応済み。																			
0602	維持費	専門技術普及指導員(維持)	-	技術普 及課	0	7,864	5,641	0.5	0.0	0.5	11,569	現状維 持	引き続き普及業務を進めるうえで重要な事務事業であるため。																															
0603	維持費	農業情報システム推進事業費(維持)	②	技術普 及課	0	14,013	11,784	0.0	0.7	0.7	19,386	現状維 持	引き続き普及業務を進めるうえで重要な事務事業であるため。											0	①	会議については可能な範囲において非接触型のオンライン開催を活用するなどして対応済み。																		
0604	職務費	普及活動推進事業費(職務)	-	技術普 及課	0	702	702	0.0	0.8	0.8	6,848	現状維 持																																
0605	一般	農業改良普及センター管理費	②	技術普 及課	0	48,301	48,301	0.3	1.7	2.0	63,702	現状維 持	引き続き普及業務を進めるうえで重要な事務事業であるため。											0	①	会議等の内容や、相手方がオンラインに対応できるなど、可能な範囲において非接触型のオンライン開催を活用するなどして対応済み。																		
0606	維持費	農業改良普及センター維持運営費	-	技術普 及課	0	36,051	17,247	0.1	1.4	1.5	47,586	現状維 持	引き続き普及業務を進めるうえで重要な事務事業であるため。																															
0607	維持費	農業改良普及センター車両維持費	-	技術普 及課	0	81,581	48,767	0.1	2.2	2.3	99,255	現状維 持	引き続き普及業務を進めるうえで重要な事務事業であるため。																															

【見直し区分】
①普及啓蒙 ②会議等 ③調査業務 ④窓口業務等
⑤施設整備・維持等 ⑥委託事業 ⑦補助事業 ⑧その他

【見直し状況 (F) (J) (M)】
① 対応済
② 今回見直しを検討
- 対応が必要

【見直し結果 (S)(T)(U)】
見直し状況 (F)(J)(M)で②今回見直しを検討を
選択した案件の集計
○見直し対応 △検討継続

Table with columns: 整理番号, 扶養, 経費区分, 事務事業名, 見直し区分, 事務事業概要, 課・局 業名, 前年度からの継続事業費(千円), 事業費(千円), うち一般財源, 本庁, 出先機関, 人工計, フルコスト(千円), 対称方針番号, 事務事業方向性, 理由及び今後の対応, 計画等位置づけ, 見直し状況, 理由, 計画等位置づけ, 見直し状況, 理由, 該当, 見直し状況, 内容, 該当, 対応状況, 次年度方向性, 次年度対応内容, 重点点検事業 見直し, 二次政策評価 意見への対応状況.

